



35

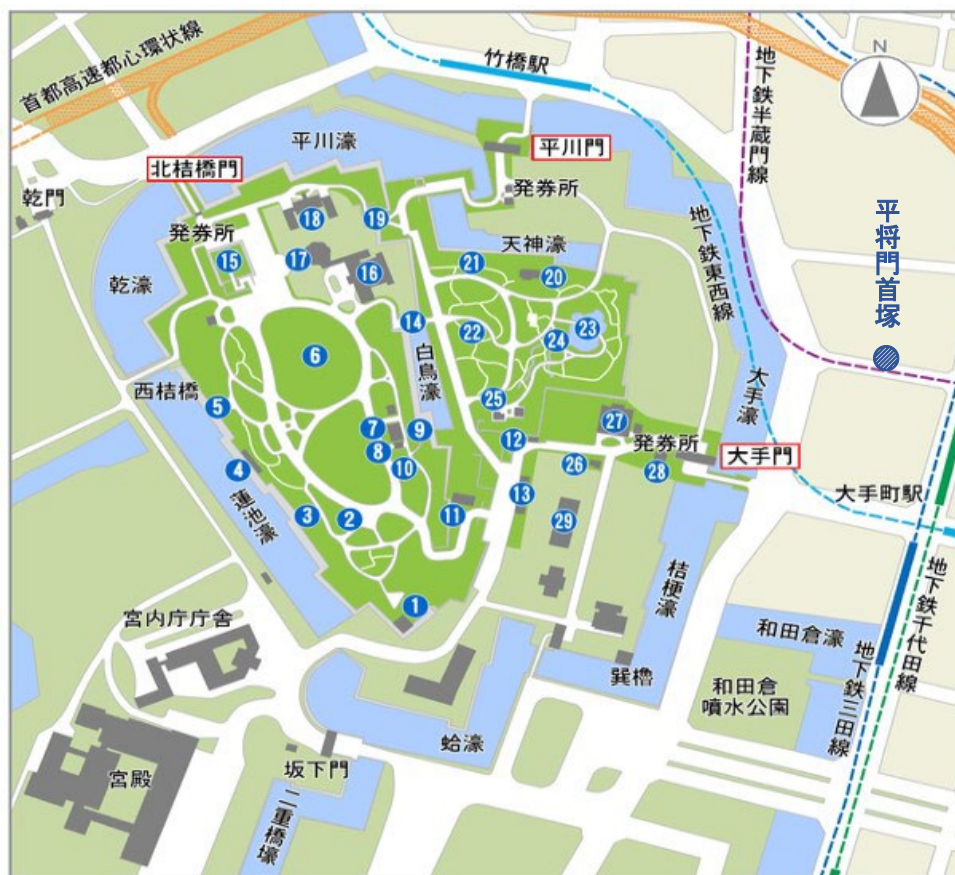
江戸城周辺散策

江戸城および周辺を散策しました。

東京駅中央口を出て「平将門の首塚」から、皇居東御苑を「大手門」から入り次頁の地図の番号順に見ていきました。ただし、[27三の丸尚蔵館]は建て替え工事中、[28]、[29]は立入り禁止、その後皇居外苑の「坂下門」、「正門石橋(二重橋)」、「正門」、「桜田門」、「楠木正成像」などを見学しました。

さすがに江戸城は広いです。そして[4富士見多聞櫓]は中を見学でき、現存する門と天守台の大きさ、石垣の素晴らしさなど見どころがたくさんあり、「さすが江戸城」と実感しました。





- | | | | |
|------------|--------|----------|--------------|
| ① 富士見櫓 | ⑨ 展望台 | ⑰ 桃華楽堂 | ⑳ 二の丸休憩所 |
| ② 江戸城本丸囃 | ⑩ 緑の泉 | ⑱ 書陵部庁舎 | ㉑ 大手仮休憩所 |
| ③ 松の廊下跡 | ⑪ 大番所 | ㉒ 梅林坂 | ㉓ 三の丸尚蔵館 |
| ④ 富士見多聞 | ⑫ 同心番所 | ㉔ 諏訪の茶屋 | ㉕ 皇居東御苑管理事務所 |
| ⑤ 石室 | ⑬ 百人番所 | ㉖ 都道府県の木 | ㉗ 皇宮警察本部 |
| ⑥ 本丸 | ⑭ 汐見坂 | ㉘ 二の丸雑木林 | |
| ⑦ 本丸休憩所 | ⑮ 天守台 | ㉙ 二の丸庭園 | |
| ⑧ 本丸休憩所増築棟 | ⑯ 楽部庁舎 | ㉚ ハナショウブ | |

「平将門の首塚」は、東京メトロ大手町駅から徒歩3分のところにあります。平安時代中期の豪族、平将門の首を供養するために建てられた石碑です。首塚についてはいくつかの伝説が知られています。

平将門の乱の後、将門は自らを”新しい天皇”を意味する「新皇」と称し始めました。これは明らかに朝廷への反逆とみなされた将門は平貞盛の軍と交戦し、下総の地で討死しました。その首は藤原秀郷により平安京の七条河原でさらされることになりました。この話にはもう一つ逸話があります。

平安京でさらされた平将門の首は、数ヶ月経った後も目を開いたり閉じたりを繰り返し、ときには「首を繋げて再戦したい」と叫ぶなどして民を恐怖に追いやりました。その後、将門の首は怨念により故郷の東国に向かって飛んでいき、その途中の土地土地に落ちた、というのです。その首が落ちた場所の一つが、ここ「将門の首塚」なのです。さらに伝説は続き、その後13世紀になると首塚は荒廃し、平将門の亡霊は怒りのあまり江戸の民を祟った^{たた}と言い伝えられてきました。祟を恐れた江戸の民は、改めて手厚く平将門を供養したそうです。なお、塚そのものは関東大震災後、大蔵省再建の際に崩されています。

首塚は以前来た時と雰囲気は全く違っていて驚きました。説明書を読むと最近整備されたことがわかりました。また平将門については大河ドラマ「風と雲と虹と」を放送時見ている加藤剛さんが演じた平将門と露口茂さんの藤原秀郷、緒形拳さんの藤原純友と山本直純作曲のテーマ音楽をよく覚えています。



大手門



「樅木は残った」はリアルタイムではなくビデオ化された総集編を見ましたが、それまで悪役で知られていた原田甲斐を悪役でなく伊達家を守った人として主人公で描いた衝撃作品でした。

実は江戸城をじっくり見て回ったのは2度目で、1度目は2014年6月に日本100名城のスタンプラリーでスタンプを押しに愛知県からいきました。その時撮った写真を誤って消してしまい、再度写真を撮り直したいと思っていたところ、たまたま近くで学生時代の先輩と同期の出演するコンサートを聴きに来る機会があり、写真の撮り直しができる次第です。



富士見櫓

とくに撮りたかった写真は大手門、番所、富士見櫓、富士見多聞(主に内部)、石室、松の廊下跡、天守台、桜田門、桜田門と警視庁の組み合わせ、各所の石垣などです。

全ての解説書をじっくり読んで、目的を果たすことができました。解説書は古い写真や絵を掲載し簡潔な文で大変良いものでした。



富士見多聞



富士見多門内部



松の廊下跡



石室

石室

Ishimuro, Stone Cellar



石室の内部
Interior of the stone cellar

この場所は江戸城本丸御殿の大奥の脇に当たります。石室の用途は諸説ありますが、火事など非常の際に、大奥用の調度などを避難させた場所と考えられています。

The exact purpose of this 20-square-metre stone cellar is not known. It is thought to have been a secret escape route for when the castle came under attack, or perhaps was used to protect valuable articles and documents from frequent fires. Located close to the site of the women's living quarters in the Edo Castle palace complex, it is possible that the shogun's consort and concubines used this cellar during fires.



桜田門

天守台

Tenshudai, Base of Edo Castle Keep



徳川家康の入城以来、江戸城では、慶長徳天守（1607年）、元和徳天守（1623年）、寛永徳天守（1638年）と3度、天守が建てられました。最も規模が大きかった寛永徳天守は、地上からの高さが約58mあったといわれています。この天守台は、寛永徳天守が明暦の大火（1657年）により焼失した後、天守再建を目指して万治元年（1659年）に築かれたのですが、幕府内で、天守は不要との結論が下され、この天守台には天守が建てられなくなりました。江戸時代の江戸城は、天守があった50年間の後、天守がない状態が210年間続いたことになります。

This was the site of the keep of Edo Castle. The keep tower was the tallest ever built in Japan. After the 1657 Great Fire of Meiroski destroyed the third tower to stand on this site, the fourth shogun Tokugawa Ietsuna (1641-1680) immediately began work on a replacement, completing this foundation by 1658. Construction of the keep itself was abandoned when Ietsuna's uncle pointed out that a stable and peaceful Japan no longer needed such an enormous, awe-inspiring structure. The foundation for the rebuilt tower consists of two rectangles. The larger one—measuring 46 metres north to south, 42 metres east to west, and 10 metres tall—was for the tower itself, while the smaller one was for the entrance slope.

屏風に描かれた天守閣
「江戸図屏風」より（国立歴史民俗博物館蔵）
Detail of View of Edo, Pair of Six-Panel Folding Screens
(National Museum of Ethnology)

宝くからの贈りもの
www.bk.or.jp



天守台

それぞれの石垣や櫓や門に風格を感じ、歴史的事件の舞台の場所で歴史を感じ、歩きやすい見学ルートができており、城巡り好きにはとても良い場所です。

〔 齋藤茂樹の北関東巡り バックナンバー 〕

#1 鎌倉殿の13人	#16 シアトルの花見	#31 陶器・像形展から銀座・日本橋界隈を散策
#2 紅葉の群馬県	#17 宇都宮市民合唱祭	#32 宇都宮芳賀ライトレール線開業
#3 栃木、埼玉の名所	#18 桜の名所 愛知・兵庫	#33 第14回男声合唱フェスティバルin宇都宮
#4 栃木、群馬県庁	#19 群馬の桜と上毛かるた	#34 コーア・リト 第5回演奏会
#5 全国御守り特集	#20 交通の要所・館林	
#6 世良田東照宮・家康	#21 第50回宇都宮市民合唱祭	
#7 栃木・益子の陶器	#22 骨波田の藤と塙 保己一	
#8 奥の細道むすびの地	#23 大室古墳群、鼻高展望花の丘	
#9 古鎌倉街道	#24 桜とあじさい、紅葉の太平山	
#10 新田義貞・上毛かるた	#25 ドン合唱団 歌い続けて65年	
#11 慈覚大師 円仁	#26 宇都宮市民芸術祭合唱フェス	
#12 バレンタインチョコ	#27 第63回群馬県合唱コンクールを聴く	
#13 梅の名所 愛知・京都	#28 お盆飾りを調べてみた	
#14 梅の名所 栃木・群馬	#29 KTC混声合唱団を聴く	
#15 早咲きの河津桜	#30 伊勢崎藩を守れ！天明浅間山大噴火	

[Back](#)

「齋藤茂樹の北関東巡り」TOPへ戻る

[Home](#)

「ホームページ」表紙へ戻る